

## 会 議 概 要

会 議 の 名 称	第2回久喜市教育振興基本計画策定委員会
開 催 年 月 日	平成29年1月31日（火曜日）
開始・終了時刻	午前10時00分から午後0時02分まで
開 催 場 所	菖蒲コミュニティセンター 第1集会室
議 長 氏 名	西崎道喜委員長
出席委員(者)氏名	久保たち子、萩原征而、板東恵子、平澤香、内田京子、安田公紀、 冨田伯枝、荒井靖光、狩野敬、佐々木伸世、西崎道喜各委員
欠席委員(者)氏名	藤目裕久、鎌田充子、小山康弘、成田寿々子各委員
説明者の職氏名	甲田教育総務課総務係長
事務局職員氏名	関根教育部長、真田教育副部長兼教育総務課長、末田参事兼指導課 長、丸山参事兼中央公民館長、赤岩学務課長、堀内文化財保護課長、 太田中央図書館長、甲田教育総務課総務係長、小室教育総務課主事
会 議 次 第	○第2回久喜市教育振興基本計画策定委員会 1 開会 2 あいさつ 3 議題 （1）計画策定に係るアンケート調査について （2）第2期久喜市教育振興基本計画の骨子及び総論（案）に ついて 4 その他 5 閉会
配 布 資 料	1 次第 2 資料1 第2期久喜市教育振興基本計画策定に係るアンケート 調査について 3 資料2 第2期久喜市教育振興基本計画 骨子(全体構成)(案) 4 資料3 第1章 総論(素案)
会議の公開・非公開	公開
傍 聴 人 数	0人

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
教育副部長兼教育 総務課長	<p>それでは、皆さま、改めましておはようございます。本日はお忙しい中、また強風の寒い中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、会議を開催させていただきます。</p> <p>開会に先立ちまして、前回の第1回会議にご都合によりご出席いただくことができませんでした、平澤委員と荒井委員に自己紹介をお願いしたいと存じます。恐縮ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>[平澤委員 自己紹介]</p> <p>[荒井委員 自己紹介]</p>
教育副部長兼教育 総務課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>また、本日は、藤目委員、鎌田委員、小山委員、成田委員から、ご都合により欠席のご連絡をいただいているところでございます。</p> <p>それでは、ただ今から、第2回久喜市教育振興基本計画策定委員会を開会いたします。</p> <p>出席委員につきましてご報告申し上げます。</p> <p>委員15人中、出席者11人、欠席者4人でございます。</p> <p>従いまして、久喜市教育振興基本計画策定委員会条例第7条第2項の規定により、委員の出席者が過半数を超えておりますので、本会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>また、本日の傍聴者はございません。</p> <p>それでは、会議の開会にあたりまして、西崎委員長よりご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p> <p>[西崎委員長 あいさつ]</p>
教育副部長兼教育 総務課長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、次第3の議題に入らせていただきます。</p> <p>議事の進行につきましては、策定委員会条例第7条第1項に、委員長が議長を務めることと規定してございますことから、西崎委員長をお願いしたいと思います。</p> <p>西崎委員長、よろしくお願いいたします。</p>
議長（西崎委員長）	<p>皆様のご協力によりまして、会議をスムーズに進めてまいりたいと思いますので、どうぞご協力よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の議題でございますが、2つありますが、「計</p>



審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
事務局(教育総務課 総務係長)	<p>速報版ということで、グラフのみの掲載となっておりますが、今後作業を進めていきまして、それぞれのグラフにコメントを掲載する予定でございます。また、先ほど申し上げましたとおり、自由意見の集約を進めていきまして完成版を作成したいと思っております。</p> <p>今回は、ご説明のとおり速報版として提出させていただきましたが、次回の第3回会議の前には、完成版が事前に委員の皆さまに配布できるように集計作業を進めてまいる予定でございます。簡単ではございますが、以上でございます。</p>
議長（西崎委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>アンケート調査の速報版ということで、アンケートの調査内容についてそれぞれグラフ化された資料が、3ページから児童、生徒、保護者、教職員に関わるものということで、集計をされております。</p> <p>その考察については、それぞれの項目ごとに掲載し、それで完成されたアンケート調査になるかと思えます。</p> <p>それでは、ただ今の事務局の説明に対しまして、ご意見、ご質問をお受けいたします。</p> <p>ご意見、ご質問のある方は、挙手をお願いします。</p> <p>はい、狩野委員。</p>
狩野委員	<p>はい。アンケート調査は、次のときに完成されてできるということなのですけれども、それはこの場にいる人だけが公開されて見ることができるのでしょうか。ちょっと前回の話で、もしかしたら忘れているのかもしれないですが。例えば、アンケート調査の対象になった人たちも、結果というのは見られるような形が取られるのですか。</p>
事務局(教育総務課 総務係長)	<p>はい。ただ今のご質問にお答えいたします。前回もお話させていただいたのですが、ホームページ上に掲載して、公表したいと思っております。</p>
議長（西崎委員長）	<p>狩野委員。</p>
狩野委員	<p>それは、公開しますというのはどういう形で皆さんに知らされるのでしょうか。ホームページを見ないと気が付かないということですか。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
議長（西崎委員長）	はい。ホームページですか、それともこの冊子を公開するということですか。
事務局(教育総務課 総務係長)	この冊子そのものを公開する形になります。その点につきましては、周知方法も含めて検討させていただきたいと思います。
議長（西崎委員長）	よろしいでしょうか。完成した段階で公開という形ですかね。ほかにありますか。はい、佐々木委員。
佐々木委員	このアンケートは、おまとめになるのはすごく大変だったと思うのですが、いま委員長が考察と取りまとめとおっしゃっていたのですが、これからなされるものは、例えば、こういう自由意見の取りまとめというような類のものなのか、この内容や設問等を考察したものなのか、その辺りはどうなのでしょう。
事務局(教育総務課 総務係長)	先ほどの説明の中で、『コメント』という言葉を行いました、それが委員長のおっしゃった『考察』といったものと同じなのですが、中身を見ていただきますと、黒い帯で示している設問と、その下にグラフがございます。その間に少し空欄があるかと思うのですが、ここに設問ごとの集計結果に基づいたコメントを入れていきたいと考えております。 それから、自由意見につきましては、以前送付させていただいた前回のアンケート調査の別冊ということで、取りまとめたものですが、今回は内容も件数も少し多いものですから、ある程度のジャンル分けをして総数を書いて、代表的なものをいくつかピックアップして掲載するという形で、この速報版のグラフ化されたページの後ろに載せていきたいと考えております。
佐々木委員	それ自体も、ものすごく大変な労力だと思うのですが、例えば、今おっしゃいました設問ごとにコメントをとということなのですが、これを拝見して思ったことは、同じ質問がそれぞれの立場にありますよね、その同じ質問がそれぞれに分かれてありますので、その設問で比べないと考察が出てこない部分があるかと思うのですが、そこまでは踏み込めないですかね。
事務局(教育総務課 総務係長)	そうですね。なかなかボリュームが多いもので、今おっしゃられた部分もあろうかと思いますが、この点についてはお手数ですが、ページを捲っていただきまして、どういう傾向にあるのかというのを見比べていただくという形にならざるを得ないのかなと考えております。

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
<p>佐々木委員</p> <p>議長（西崎委員長）</p>	<p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>前回の振興計画を策定するに当たってのアンケート調査を見ますと、それぞれの項目の下に結果についての考察、コメントが載っております。こういう形でコメントを入れるということになるかと思いますが、佐々木委員さんのほうから、1つの質問項目に対して、小学校、中学校、保護者、教職員というそれぞれの対象者の結果があるのですが、1つの項目に対してそれぞれのを一括して考察するというのも起こりうるかということだと思いますが、そこまでやれば大変わかりやすい、見るほうは大変楽になります。それぞれを見ればわかるのですが、それぞれの立場でどう考えているのかなということを振り返ってみなければわかりにくいという面もあります。</p> <p>その辺は、事務局のほうでどのようにまとめていくかということについて今後考えていただければよろしいのではないかと思います。いずれにしても、コメントが入るというふうになるかと思いません。</p> <p>ほかにございますか。はい、平澤委員。</p>
<p>平澤委員</p>	<p>先ほどの佐々木委員と重なるところもあるかと思いますが、例えば、小中学校の児童生徒で言えば授業がどのくらいわかっているのか、また、小中学校の保護者に対しては、あなたのお子さんは学習内容をどの程度理解していると思いますか、さらに小中学校の教員に対しては、あなたの学校の児童生徒は学習内容をどの程度理解していると思いますかというような学習理解に関する項目だけを見ても、学校の児童生徒、保護者、教員ではかなり差があると思います。この違いは今後、教育振興基本計画を考えていく中で重要かも知れませんが、全部でなくともポイントとなる項目だけでも検討してみたいかと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>以上です。</p>
<p>議長（西崎委員長）</p>	<p>はい。策定に関わる重要な内容等については、子ども、教員、保護者とそれぞれの立場でまとめて考察していただくと参考になるのではないかと思います。</p> <p>ほかにありますか。はい、富田委員。</p>
<p>富田委員</p>	<p>私も、このアンケート調査を拝見していて、保護者と子どものギャップであるとか、一番ショックだったのが幼稚園の親御さんの年齢と小中学校になると開きが出てくるというのはわかるの</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
富田委員	<p>ですが、同じ質問に対しても、例えば「久喜をふるさとと感じているか」ということに関して、感じていないと答えた年代がものすごくショックで、あと小5と中2で年齢差は3つなのですが、やはりたった3つでも小学校と中学校では全然考え方も変わってくる。私もいろいろと見比べてみて、黄色信号、赤信号だと色分けしてみたのですが、そういったところも親御さんの年齢によっても同じ質問に対する結果というのを、小・中または幼稚園という形でも1つ、これを集約して同じ問題に対して、ギャップ、親の年代のギャップというのを見返すように、同じ設問だったらそういった年代というのをも集約するというのもいいのかなと思いました。</p> <p>やはりモラルに関してもどう考えているのか、幼稚園の担当の方、小学校の先生、中学校の先生、それぞれで大変さがものすごく感じられましたので、そういったことも載せていただければ、後のパブリック・コメントというのはまたこのアンケート調査に対してではなく、こちらの案に対してのパブリック・コメントになるかと思うのですが、その以前のアンケートも出し方というところもちょっと注目したいなというふうに思いました。</p> <p>以上です。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい。いわゆる学校差、あるいは保護者、教員という立場の違いというのによってアンケートの回答の内容が変わってくるという、先ほど項目ごとというのがありましたけれども、それぞれの立場によってももの見方が変わってきているということがわかるように、まとめていただくというご意見であるかと思えます。</p> <p>それらも含めましてこのアンケートのまとめをどういうふうにしていくかということも1つ考えて完成版を作っていただければと思います。</p> <p>ほかにございますか。はい、荒井委員。</p>
荒井委員	<p>前回欠席して今回初めて参加するので、いまいちわからない部分があるのですが、アンケート結果を見させてもらいまして、それぞれ学校の先生であったり、保護者であったり、子どもたちであったり、それぞれのアンケートなのですが、いろいろある中で、やはり一番の責任と言いますか、子どもに対する親があつてのそれからの教育というところなのですが、残念なことに、学校任せということではないのですが、そういった考えである保護者だとか、保護者の立場から子どもへの関心がちょっと薄れている話を聞く機会もある中で、それぞれの保護者の</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
荒井委員	<p>アンケート結果を見ますと、いろいろな問題が起こっていると。昔は自分の頃では昭和の時代で育ってきた者からすると、保護者がいまいち学校任せにしている部分、子どもに関心がないといった話もPTAを通して聞くこともありましたので、そういった環境をまずは子どもの関心を持たせるところが第一歩なのかなと。そういう部分も強化していかなければならないのかなと、活動を通して感じています。</p> <p>以上です。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい。保護者の立場からのご意見ということで、保護者の教育力の云々というところも関わってくるかと思いますが、それらに刺激を与えるようなことも考えていくと。これは、策定委員会の内容にも関わっていきますので、その辺の内容の審議のところでもたお話しただければと思います。</p> <p>もしないようでしたら、このアンケートにつきましては、今後、次回までに完成版という内容を作成してまた公表していただければと思います。</p> <p>次に進んでよろしいでしょうか。</p> <p>〔「はい」と言う人あり〕</p>
議長（西崎委員長）	<p>議題（2）「第2期久喜市教育振興基本計画の骨子及び総論（案）について」でございます。</p> <p>事務局のほうから説明をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
事務局(教育総務課総務係長)	<p>はい。第2期久喜市教育振興基本計画の骨子及び総論（案）について、説明させていただきます。</p> <p>まず、骨子（案）でございます。資料2、A3版1枚のものをご覧いただきたいと思います。</p> <p>前回の第1回会議でも、計画の構成について若干触れさせていただいたところでございますが、第1期計画と同様に、「第1章 総論」、「第2章 施策の展開」、「第3章 計画の推進にむけて」の3章立てで考えてございます。</p> <p>内容につきましては、今回の第2期計画が、第1期計画を継承しつつ、必要な修正等を行うものでありますことから、第1期計画の構成を基本としてございます。</p> <p>第1期計画との違いでございますが、「第1章 総論」の、大項目1「はじめに」の「5」でございます。第1期計画では、「久喜市の教育の現状と課題」ということで掲載してございまし</p>



審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
事務局(教育総務課 総務係長)	<p>た。今回は、第2期計画ということで、第1期計画を受けまして、「第1期計画の検証と今後の課題」を掲載してございます。</p> <p>また、「第2章 施策の展開」でございますが、基本目標7でございます。第1期計画では、「施策5」として「スポーツ推進計画の策定」がございましたが、このスポーツ推進計画が本年度中に策定されることから、第2期計画ではここを省きまして施策4までの内容となっております。</p> <p>今後、この骨子（案）を基本に、計画策定作業を進めていきまして、必要に応じて、構成内容についても修正等を行っていきたいと考えてございます。</p> <p>それでは、続きまして、総論（案）でございます。資料3をご覧くださいと思います。</p> <p>先ほど、骨子（案）でご説明いたしました「第1章 総論」部分の素案でございます。</p> <p>内容の詳細な説明につきましては、先ほどと同様に、資料を事前に配布させて頂いておりますこと、また、時間の関係もございまして、概略と主な点についての説明とさせていただきます。</p> <p>「第1章 総論」ですが、骨子（案）でお示ししたとおり、大項目1の「はじめに」と大項目2の「計画の基本的な考え方」の2つの大項目で構成してございます。</p> <p>それでは、資料の1ページをご覧ください。</p> <p>大項目1「はじめに」は、「1『計画策定の趣旨』、2ページの「2『計画の位置付け』、3ページの「3『計画期間』、4『教育を取り巻く社会の動向』、5ページの「5『第1期計画の検証と今後の課題』」の5つで構成してございます。</p> <p>2ページに戻っていただきまして、「2の『計画の位置付け』」にございます、計画のイメージ図をご覧くださいと思います。</p> <p>前回の会議でもご説明させていただきましたが、久喜市教育振興基本計画は、久喜市総合振興計画の分野別計画として、国や県の教育振興基本計画を参考に、教育行政の中心的な計画として位置付けられて策定するものでございます。</p> <p>続きまして、5ページの「5『第1期計画の検証と今後の課題』」をご覧くださいと思います。</p> <p>ここでは、第1期計画の7つの基本目標ごとに、施策の主な成果と、基本目標の今後の課題について掲載してございます。5ページから22ページにわたりまして掲載してございます。</p> <p>続いて、資料の23ページをご覧くださいと思います。</p> <p>大項目2「計画の基本的な考え方」でございます。「1『基本</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
事務局(教育総務課 総務係長)	<p>理念』、「2『基本方針』、24ページの「3『基本目標』、26ページの「4『施策の体系』」の4つで構成してございます。</p> <p>内容的には、第1期計画と同じであります、25ページの「基本目標7」のところに、「市民マラソン大会の開催をはじめ」という一文が加わってございます。こちらにつきましては、昨年度から市を挙げての大きなイベントということで、代表的なイベントということで掲載してございます。</p> <p>また、骨子（案）でもご説明したとおり、27ページをお開きいただきたいのですが、「基本目標7」の施策については、先ほど申し上げましたとおり、施策5が無くなり4までの施策となっております。</p> <p>以上が、「第1章 総論」（案）の概要と主な点の説明となります。</p> <p>この内容についてご審議をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>今回は基本計画の全体構成というものと、それらの項目の総論に当たる部分、それから施策の展開、計画の推進というのは順次この後続けてという考えでおりますが、まず今日の資料の2と3に関わる内容です。内容がたくさんありますので、少しずつ項目ごとにいくつかに分けてご意見をいただくという形を取りたいと思います。</p> <p>まず、資料2の今後の全体構成、基本計画を策定するに当たっての項目立てでございまして、この項目につきましても、第1期の基本計画の継承に当たるということを前提に考えております。しかも、今後の審議の過程において、例えば、第2章の施策の展開の内容が施策1からそれぞれ5つか7つくらいありますけれども、その項目がその部分で良いかどうかというのは審議の過程で、この内容はこちらのほうが良いのではないかとということが起こり得る、あるいは、言葉や文言の訂正というものが起こり得るということを前提にして一応こういう案で基本計画を策定していこうという骨子でございまして、ですので、中身については、このことはどういうことかと言われると、現在の段階では、それはこれから表現されていくというように捉えていただければと。</p> <p>いずれにしましても、この骨子というのは総論ということで、計画の趣旨、期間、社会の動向、それから今後の課題、それぞれ基本の項目が7つあります。基本的な考え方として、それぞれの基本目標の考え方、あるいは全体的な理念、そういうものが述べられています。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
議長（西崎委員長）	<p>展開のところでは、それぞれの施策、基本目標7つの項目についてそれぞれの施策を考えていきます。それから、第3章で計画の推進に向けて、計画の推進、それから進行管理というものが考えられています。こういう構成で向かうということです。</p> <p>今後また審議によって、この項目が変わり得るということがあることも前提においていただければと思います。</p> <p>それでは、資料2については以上です。</p> <p>今度は具体的に、総論という形で資料3に入らせていただきます。</p> <p>これも内容が大変多いものですから、いくつか区切ってご意見をいただければと思います。それでは初めに、「計画策定の趣旨」から「計画期間」について、ご意見をお受けいたします。</p> <p>一応、策定の趣旨というのは国、県、それから久喜市という立場から、この基本計画を策定していきますよということを述べています。</p> <p>国、県につきましては、社会情勢につきましては、簡単に述べられておりますが、久喜市においては、第1期の計画が終わるに当たって第2期のものを策定するというので、それを策定するに当たって国や県のを参考にしていきますよということです。それから、久喜市の総合振興計画との関わりも持ちますよということが述べられております。</p> <p>それから、計画の位置付けということで、今申し上げた内容を図表に表すならば、2ページのような形になりますよということです。</p> <p>ここでのご意見はありますか。</p> <p>〔「なし」との意見あり〕</p>
議長（西崎委員長）	<p>よろしければ、今度は3ページからの項目4「教育を取り巻く社会の動向」が大きな話題になりますので、ここについてご意見をいただければと思います。</p> <p>はい、平澤委員。</p>
平澤委員	<p>3ページの「教育を取り巻く社会の動向」の全体のことについてなのですが、これは、日本全体、あるいは埼玉県を捉えているのか、それともこの中で特に久喜市はということで捉えているのか、その内容について教えていただければと思います。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい。「教育を取り巻く社会の動向」というのは、ということについてです。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
事務局(教育総務課 総務係長)	<p>これについては社会全体の動向について触れてございます。ただ、人口の部分につきましては、社会全体を踏まえつつ、久喜市はどうであるかということに触れさせていただいております。</p>
議長（西崎委員長）	<p>よろしいでしょうか。社会全体で把握しているということで、特に久喜市ではということに限定する内容は見られないということですかね。</p>
事務局(教育総務課 総務係長)	<p>(1) の人口のところについては触れております。</p>
平澤委員	<p>ということは、この後の施策の展開とは切り離して、日本全体的話ですよということで理解すればよろしいということですね。</p>
議長（西崎委員長）	<p>「教育を取り巻く社会の動向」というのは、全体を捉えて、ここに述べていると。  「教育を取り巻く社会の動向」の中で、部分的に特に久喜市で顕著な課題があれば、この中に入れ込んでも良いと思いますが、その辺のところは何かありますか。  これらに、アンケートの結果がここの中にもし、保護者とか学校とかによって、こういう問題があるということが明確に出てくれば、この中に入れられるのですが、あまり顕著なことは見られないと思いますので、全国的な動向というものを押さえて、それらに向かって今後、久喜市ではどう教育に取り組むかという形で進んでいきたいなと思います。  よろしいでしょうか。  それでは、今度は、それらの状況において、久喜市ではどういうふうに取り組んでいくかということで、目標1からずっとあるわけですが、項目5の「第1期計画の検証と今後の課題」ということで、まず目標1「人間形成の基礎を培う幼児教育の充実」の内容について、ご意見をいただきたいと思います。</p>
富田委員	<p>はい、富田委員。  幼児教育ということなので、主な成果というのは、子どもたちの人間形成ということで、幼児に対してなのですかね。その文中で、「食育では野菜の栽培や収穫体験を通して食べ物への関心を高め、」から「マナーや食事を楽しむことを学びました。」ということだったので、これは本当に全員だったのか、ちょっと漠然としていて、いつ取り組まれたのかというのがわからないなど。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
富田委員	<p>あと、その下の「小学校との連携」というところで、平成 23 年度から平成 27 年度は実績値が上がっていて、なぜ平成 29 年度の目標値がちょっと下がってしまっているのか、ここに問題を感じました。</p> <p>以上です。</p>
議長（西崎委員長）	<p>まず、意見だけ聞いていきましょう。</p> <p>はい、佐々木委員。</p>
佐々木委員	<p>私も、幼児教育は大変大切なことだと思いましたので、同じく平成 27 年度の実績から平成 29 年度の目標が下がるということの理由を伺いたいなと思いました。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい。まず 1 つは、食に関する事で、具体的な姿ということですか。</p>
富田委員	<p>そうですね。何かこれだと漠然としていて、全員が果たしてこれを取り組んだのかと思いましたね。</p>
議長（西崎委員長）	<p>現実にこれが行われたかどうかということがわからないということですか。</p>
富田委員	<p>「学びました」と書いてあるので、やられたかとは思いますが、全員のみんながどんなことをされたのかなということを知りたいなと思いました。</p>
議長（西崎委員長）	<p>その取り組んだ内容等については。</p> <p>はい、学務課長。</p>
学務課長	<p>学務課でございます。私どものほうでは、学校給食を行っているわけですが、給食の提供に当たりましては献立の作成とか、あるいは食材につきましても地産地消という形で努めているところでございます。その中で献立の作成ではそういったものを盛り込んでいっているところでございます。そういったものを栄養士が中心にしているわけですが、例えば、学校によっては先生方が様々な取り組みをしていると伺っております。</p> <p>また、私どものほうでも、学校サイドから給食における教育を講義といいますか、授業をやってほしいという依頼を直接受けることがございます。そういった際には、栄養士を学校に派遣いたしまして、そういった食育についての講義を実施しているところ</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
議長（西崎委員長）	<p>でございます。</p> <p>これは、幼児教育ということで、特に私たちが考えなければならぬことは、幼児教育といっても私立の幼稚園までは及ばないということ。これを押さえておかないと、ちょっと難しい。公立の幼稚園は2つしかありませんから。せいぜい人数からすれば百何人、二百人近く。それらのアンケート、あるいは実績を基にして、ここの「一緒に食べる」というのは個々の弁当です。同じ弁当を購入して、みんなが同じ弁当を同じように食べるという経験もしています、ということがここに書かれています。ですから、ほかの幼稚園というのを考えたら意味が変わってきますね。そこを押さえていただきたいと思います。</p>
富田委員	<p>これは公立の幼稚園ということですか。</p>
議長（西崎委員長）	<p>公立の幼稚園です。</p>
富田委員	<p>公立の幼稚園ということなんですよ。では、そういったことも書かないといけないのではないですかね。</p>
議長（西崎委員長）	<p>現実には、以前の点検評価を見ると、共通弁当を持って、食についての学習をやりましたというのが掲載されていて、評価されています。それらを基にして、現実にはこれらを行ってきましたと解釈していただければと。</p>
富田委員	<p>アンケートからずっと流れてくれば、小中に関してはもちろん、久喜市内の小中に関しての児童生徒や保護者に対してのものだと思うのですが、幼稚園に関しては公立の方限定の保護者のアンケートだったということになるわけですね。そうすると、これをやっているのは公立の幼稚園のみだったということですよ。ただ、これをまたパブリック・コメントなり、市民の方に見せると、こういうことはやってないよねと親のほうが思うので、この辺の文章の表現の仕方について気を付けないと、ギャップが出てしまうのかなと思うのですが。これをやるというのは良いことだと思うのですが、ただしこれが本当に何校か、久喜の中には私立の幼稚園がいっぱいある、また保育園もこれから造られるところも多いと思うのですが、公立の幼稚園なり、保育園しかやっていないということなんですよ。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい、学務課長。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
学務課長	<p>こちらに書いてある記述につきましては、確かに公立に限っての表現になります。私立につきましては、基本的には保育園に關しましては市町村事業という形になっておりますので、ある程度は市のほうでの指導というものもありますが、幼稚園に關しましては、基本的には学校教育法、またそれに派生いたします幼稚園の教育指導要領というのがありますので、そういったものに基づいて幼稚園教育というのを行っている現状でございます。</p> <p>それから、特に私立の幼稚園につきましては、園ごとにそれぞれいろいろな保育に關しまして創意工夫をして、園ごとに特色を出しているような状況にあります。ですから、例えば、食育に關しましても、公立の幼稚園では給食は提供しておりませんが、私立では給食を自園で調理して、給食を提供したり、あるいは業者委託で給食を提供したり、そういったような形で行っています。あるいは、園庭に畑を作って野菜を栽培して収穫して、作って食べる喜びを感じる。私立につきましては、様々なそういった取り組みを各園独自の裁量で行っている状況でございます。</p>
議長（西崎委員長）	<p>よろしいでしょうか。</p>
富田委員	<p>すみません、1つ。アンケート調査の概要に戻ってしまうのですが、そうすると回答状況はただ「幼稚園保護者」、「幼稚園教職員」ではなくて、久喜市内公立幼稚園としたほうがよろしいのではないですか。やはり見ていると、すごく回数が少ないので。公立なんだろうと今更ながらわかったのですけれども。ただ「幼稚園保護者」、「幼稚園教職員」だと違ってくるので、ここに久喜市内公立幼稚園と入れたほうが良いような気がするのですが。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい、佐々木委員。</p>
佐々木委員	<p>確かによく見ないとわからないかと思うのですが、アンケート調査の概要の1ページのところに、調査の対象としまして、幼稚園はいわゆる市立というふうには書いてはあります。なので、これでわかるのかなと思いましたが。見慣れないと、中だけ見ると、勘違いすることも大いにあると思いますので。</p>
狩野委員	<p>今の質問からすると、公立の幼稚園という数でいうと、久喜市全体からすると、かなり数が少ないではないですか。私立の幼稚園のほうが多いわけですね。そうしたら、逆を言えば、その私立の幼稚園というのが自由に良いと思って伸ばしている教育と</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
狩野委員	<p>というのがたぶんあると思うのですよね。そういう良いところを情報としていただいて、それを共有した上で、このアンケートも私立のほうの幼稚園にも反映できないものなのかなと、ちょっと疑問なのですけれども。</p> <p>私立だからやらないと一概に言うのは、久喜市の中の幼稚園、幼児の教育、保護者もそうですけど、すべて子どものためにとって、幼稚園はこっちが良いとか、あっちが良いとか選んでいるはずなんですよね。それも、当然、おじいちゃん、おばあちゃん含めて、孫はこっちの幼稚園に行ってるという話だと思うのですけれども、良いところを自分なりに考えて、子どもも自分なりにその幼稚園で楽しくやっているといると思うのですけれども、久喜市全体が幼児のことを考えているならば、公立のみということではなくて、私立にもアンケートをしても良いのではないかなと思うのですけれど、その辺の考えはどうなのですか。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい、学務課長。</p>
学務課長	<p>それぞれの良いところは取り入れてのという話だと思いますが、可能な限りそういった取り組みというのはやれる範囲ではやるということになるかと思います。</p> <p>ただ今申し上げましたように、それぞれが園独自の裁量によっていろいろな取り組みをしています。特に、私立の園に対しましては、独自の取り組みをすることによって、保護者の方からある程度のご負担もいただいているような場合もあります。それを承知で、それをやらせたいために入れるというような保護者の方もいらっしゃいます。また、公立につきましては、公立に入れている保護者も、公立における取り組みを十分理解した上で、それを大変評価してくださっているような状況がございますので、繰り返しになりますが、もちろんできる範囲で良いところは取り入れますけれども、すべてを同じように一律というようなものにつきましては、先ほども申し上げました幼稚園教育要領というものがございますので、これに基づいて幼稚園教育はやっていると。そういった中で、園独自の特色を出していくのは、それぞれの園ごとの裁量という形で考えてよろしいのではないかと思います。</p>
議長（西崎委員長）	<p>いろいろと課題がありそうなので、この件については、この内容で今回は進めていきたいと思えます。</p> <p>これからアンケートを取るにしてもとても間に合いません。特に、私立の幼稚園の保護者においては、いろいろな問題が絡んでまいりますので、その辺はどこまで踏み込めるのかという問題が</p>





審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
議長（西崎委員長）	<p>をいただければと思います。</p> <p>今後、このような表が後の目標のところに出てまいりますけれども、一応そういう基本的な考え方で表を見ていただければと思います。特に、子どもの数とか何か言いますと、久喜市は全体的にも人口減、児童数の減少の傾向にありますので、人口減とか社会の状況によって前年度より数が少なくなるということもありうるというように見ていただければと思います。</p> <p>ほかにございますか。はい、佐々木委員。</p>
佐々木委員	<p>今おっしゃったことはわかりました。前回の平成 29 年度の目標値をここに入れているということなので、変な形で数値が出ているのですが、つまり実際これが完成する暁には、そのようなことがないという理解でよろしいのでしょうか。</p>
事務局(教育総務課総務係長)	<p>第1章の総論ということでご審議いただいているわけですが、第2章で施策の展開で平成30年度以降についてこういう形で取り組んでいこうという内容についてご審議いただきますが、その中で同じように現状値、目標値を設定することになるかと思えます。その時点では、まだ具体的な作業がこれからです。ここでお示ししている、例えば、今は平成27年度と書かれているところを平成28年度に切り換えて、この平成28年度であがってきた数字が第2章の中の現状値になっていって、また新たに平成34年度を目標とする目標値を示す形になるかと思えます。</p> <p>この5ページで申し上げますと、第2章の施策の展開では、平成28年度の現状値が9、目標値が9以上という表現になるのか10になるのかはこれからの検討ですけれども、そういう形になるかなと思えます。</p>
佐々木委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい。もしなければ、次の章に進めたいと思います。</p> <p>基本目標2「『総合的な人間力』を育成する学校教育の充実」ということで、7ページから11ページまで続いています。この内容等で何かご意見はございますか。</p> <p>目標2については、子どもたちに総合的な人間力を育むんだという、そのための取り組みというもので、主な成果というのが丸印に掲げられている項目ごとに述べられて、それからそれらを実際に実践してみた結果、今後の課題としてその下に述べられてい</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
議長（西崎委員長）	<p>ます。</p> <p>前回の基本計画はこのような形にはなっていなかったですね。今回は、目標ごとに主な成果を挙げて、課題をまとめている形を取っています。</p> <p>ここにあります現状値と目標値については、先ほど説明があったことと捉えていただければと思います。</p> <p>この目標の内容で、一般的に言われている子どもたちがどういう力を付けていかなければならないかということが述べられておりますが、今後も久喜市でも全国でも同様、これらについて高めていくことが将来の子どものためになるということで、目標を立て、実際に事業を推進していったということです。具体的には、それぞれ成果が述べられております。</p> <p>はい、平澤委員。</p>
平澤委員	<p>はい。9ページの安全教育の充実というところについてなのですが、なかなかここに書き込むには難しいことだとは思いますが、各学校で防災マニュアル等を作って、安全教育をされていることだと思いますが、ふるさと意識とも若干関係することだと思うのですが、特に中学生には災害があったときには地域を守るんだという意識をもう少し持ってもらうのも良いのかなと考えます。何かあった場合に一番頼りになるのは地域に残っている中学生になるのかなと思います。</p>
議長（西崎委員長）	<p>地域を守るということで、地域の取り組みですか。</p>
平澤委員	<p>学校の取り組みですね。子どもたちに、特に中学生には、何かあった場合には地域を守るんだよという意識を持たせることも安全教育にはあっても良いのではないかなという考えです。</p>
議長（西崎委員長）	<p>地域住民が学校の子どもたちを守るということですか。</p>
平澤委員	<p>いえ、中学生です。</p>
議長（西崎委員長）	<p>中学生が自分たちの地域を守ると。</p>
平澤委員	<p>何かあった場合には、自分たちで地域の人と一緒に。</p>
議長（西崎委員長）	<p>行動できるようにすると。</p>
平澤委員	<p>そうです。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
議長（西崎委員長）	<p>ということは、取り組みがないとすれば、今後の課題になるわけですか。</p>
平澤委員	<p>そうですね。今後の課題としていただいても結構かと思えますし、久喜市の教育の基本的な方向性とも関わるかと思えますので、ここでの議論の材料としていただいても良いのかなと思えます。</p>
議長（西崎委員長）	<p>身の安全は自分自身で守るということですよね。</p>
平澤委員	<p>それとともに、中学生はもう少し地域に関わって、地域を守ったらどうだろうと。</p>
議長（西崎委員長）	<p>地域とともに自分たちを守ると。</p>
平澤委員	<p>何かあった場合にお年寄りなどを守るのは地域に残っている中学生が最適ですよ。</p>
議長（西崎委員長）	<p>そうすると、11 ページの安全教育について、その辺の1項目、地域の子どもたち、保護者も守るし、地域の住民も守ると同時に自分も守るという相互の連携という形で項目を入れたらどうかと。まだ不十分ではないかと。</p>
平澤委員	<p>不十分というよりは、なかなか難しい問題ですので、そういう意識が学校自体にも、子どもたちにないとなかなか難しいように思います。</p>
議長（西崎委員長）	<p>学校が計画の中で、地域を守る、地域のお年寄りと交流を深めると。 はい、狩野委員。</p>
狩野委員	<p>言っている意味がたぶん何となくわかるのですが、小学生だったら1年生から6年生までいて、1年生の面倒を見るのは2年生であり、3年生であり、それで中学生になったら大人に近い状態になって、高校生になると各地域に散ってしまう場合があるので、市のなかで災害が起こったときには、弱い者を上の強い者が守るという意識を高めさせようということなのですかね。 その漠然と中学生がということではなくて、やはり年の上の者が下の者を面倒見たり、逆に体力のある人が体力のない人を守っ</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
平澤委員	<p>たりという意識を作らせるということでもいいのですかね。</p> <p>そうですね。なぜ中学生なのかというと、この間の東日本大震災のときでも、中学生がお年寄りをリヤカーで運んだり、小さい子の手を引いて避難したり、そういった実績が実際にありますので、そういうことも大震災のときには正に地元にいる中学生は大変頼りになるのだらうなというふうな意識です。</p>
議長（西崎委員長）	<p>そういう対応は、事務局のほうで計画を組み入れられそうですか。</p> <p>はい、指導課長。</p>
参事兼指導課長	<p>指導課の末田でございます。</p> <p>ただ今、平澤委員さんのご指摘につきましては、非常に防災について大変重要な視点かなと捉えております。先ほど、狩野委員さんがおっしゃられたように、例えば中学生に限らず、小学生の避難訓練等を実施するときも、高学年の児童が低学年の児童を助けながら避難するとか、そういう場面は見られています。</p> <p>先ほど、東日本大震災のときにもあったように、中学生がその地域においては、やはり学校の子どもとすれば自分よりも弱い者を中心に助けていくという視点は重要かと思えます。ただ、この中にどのように書き込むかというのは非常に難しいところがあるわけなのですけれども、現在、地域の防災ということで、それぞれ地域でコミ協という組織がございまして、そこで地域の防災訓練というのを学校と一緒に進めているところがございまして、そういうところに、中学生とか小学生が入って地域での防災というなかで、どのようにあるべきかということで、当然そうなりますと、中学生の年長者が中心になって行動するという場面もあろうかと思えます。</p> <p>それと、これから市内小中学校でコミュニティ・スクールというものを始めていきます。その中で、学校と地域の関係についてどのようにあるべきかということで、当然その議論の中で先ほどコミ協の話で、地域の防災という話がありましたけれども、そういうところで話が出てくるところもあろうかと思えます。その中で、当然、中学生が年長者としてどのようにこういう防災のときに行動するかというのは話題になってくるところですし、意識していかなければならないところだと理解するわけなのですけれども、この学校教育の中にそれをどういうふうに位置付けるかという非常に難しいところがあるかと理解しているところなのですけれども。お答えになりませんが、申し訳ございません。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
<p>議長（西崎委員長）</p> <p>学務課長</p>	<p>はい、学務課長。</p> <p>何年か前に、防災を担当していたことがございまして、そちらのほうの観点で申し上げますと、基本的には市内の公立小中学校につきましてはすべて避難所というものに指定されておりますので、大災害が起こった際には、当然必要に応じて学校が避難所として指定されますので、災害の規模にも依りますが、そこで果たして通常どおり授業が行えるかどうかということが1つあるのかなと思います。</p> <p>防災に関しましては、いわゆる一般的に言われている『自助、共助、公助』という3つの観点からで、自助というのが自分の身は自分で守る、その次が共助で、隣近所でお互いに助け合ひましょうと、それから公助ということで、いわゆる公の機関、役所とか自衛隊、消防、警察、そういったものによる公助、この3つの視点がありまして、いま防災の観点で市が地域をお願いしていることとして、自主防災組織というものを地域の中で立ち上げてくださいという働き掛けを行っているところでございまして、久喜市は県内でも自主防災組織の結成率が大変低い状況であったのですが、こここのところの働き掛けによって随分これが伸びてまいりました。</p> <p>基本的には、防災の観点からとしては、地域における防災の取り組みというのは、高齢者から子どもまでを含めた形での、いわゆる地域のコミュニティの中での取り組みという形で、市としては考えているところでございます。</p> <p>従いまして、先ほど指導課長からもお話があったように、いわゆる教育の観点から子どもに災害時の役割として指導の中にとというのは、ちょっと考え方としては違う方向なのかなと。もちろん、災害時に上級生が下級生の面倒を見るというのは自然の流れの中で出てくるかと思えます。ただ、災害が起こった後の状況として、例えば授業ができない状況であれば、東日本大震災のときも中学生が自主的にボランティアとして活動したと。そういうような実態はございますので、その辺はその状況に応じての周りあるいは先生方の配慮といった形でやっていくものなのかなということで、あえて計画の中で、そういうのを位置付け、中学生は大人に近いのだからと、そういった形での位置付けというのはなじまないのかなと考えるところでございます。</p>
<p>議長（西崎委員長）</p>	<p>はい、指導課長。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
参事兼指導課長	<p>先ほどお話をした中で、学務課長が言ったように、防災ということで位置付けるのは難しいのですけれども、子どもたちの意識というところでは、当然、学校教育の中で位置付けられるところがあるかと思えます。</p> <p>それで、それは今、今後の課題ということで、前回の基本計画の中の、こういう表現で良ければということなのですけれども、40 ページ、41 ページのところ、「安全教育の充実」で具体的な施策、取り組みというところで、例えば、ここで表現されているのが「社会の構成員としての自覚を深めるとともに、社会奉仕の精神を育むために、助けられる人から助ける人へという共助の視点を安全教育に取り入れ、発達段階に応じた指導・工夫に努めます。」というような表現をしておりますので、意識というところで子どもたちに安全教育について認識してもらおうということは可能かなと思っております。</p>
議長（西崎委員長）	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>具体的な施策として前回の計画には表現が出ていますので、そちらを基にして各学校は防災教育をどういうふうに進めていくかということを指導する立場にあるということです。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>はい、荒井委員。</p>
荒井委員	<p>1つだけ。いま意識が非常に大切ということなのですけれども、中学生はほとんどスマートフォンを持っている子が多いという中で、それを上手く利用して、例えばお年寄りが困っているという情報を、そういうものを通して、いろいろな、もしかしたら大人のネットワークよりも広がる可能性もあるし、人を救う可能性もあります。自分も消防のほうに関わっていますけれども、親にこういった情報が来れば、消防機関に連絡が取れますし、そういう中学生のネットワークに意識を持つことで、何かあったときすぐに皆に情報を共有する意識があれば、災害を最小限に留まらせることができるという意味からも、もしものときの行動の意識を持たせるということはすごく大切なのかなと感じています。</p>
議長（西崎委員長）	<p>それらのことについても、具体的な内容に入りましたら、審議していただければと思います。</p> <p>時間も過ぎておりますので、次に行かせていただきますが、よろしいでしょうか。</p> <p>基本目標3「信頼される学校づくりの推進」、この内容について</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
平澤委員	<p>てご意見をお願いします。 はい、平澤委員。</p> <p>はい。11 ページの主な成果の中に、「学校・家庭・地域が一体となった教育の推進」ということで、これから学校評議員制度なり、学校応援団なり、学校・家庭・地域等が機能しているというお話が出ております。今後の課題なのか、内容がわかりませんが、現在、先ほどから出ておりますように、久喜市はコミュニティ・スクールということで取り組んでおりますので、そういうのがどういうふうに入ってくるのか、特にコミュニティ・スクールということになりますと、誰がという主体がしっかりしないとまずいと思います。地域と一体なのか、地域と共にある学校なのかというあたりも具体的にしておかないと、地域だけで動かすのか、校長先生のリーダーシップはどこにいてしまうのかという問題も出てくるかと思えます。コミュニティ・スクールの問題は、市長や他の市町村なども大変関心を持っていると思いますので、それらの現状なり今後の課題なりを上手く説明していただければありがたいなと思えます。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい、指導課長。</p>
参事兼指導課長	<p>指導課でございます。信頼される学校というところにも当然関わってくるわけですが、コミュニティ・スクールにつきましては、前のページの10ページの、下から10行目あたりに「コミュニティ・スクールを基盤に、家庭や地域と連携し、」ということで、コミュニティ・スクールについて触れさせていただいているわけなのですが、どちらで押さえるのが良いかちょっと難しかったのですが、前のほうでコミュニティ・スクールについては押さえさせていただきました。</p>
議長（西崎委員長）	<p>いわゆるコミュニティ・スクールというものの考え方が一般的に、全国に通用するものの考え方でやっているのか、久喜市独自のものの考え方でやっていくのか、少し明確にどこかでしておく必要がありますね。</p> <p>現在は、久喜市は久喜市独自のコミュニティ・スクールの概念を捉えてやっていますよね。</p>
参事兼指導課長	<p>そうですね。久喜独自のコミュニティ・スクールということで取り組んでいます。ただ今のコミュニティ・スクールにつきましては、現在のところ成果と課題というところのものなので、実際</p>



審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
参事兼指導課長	<p>の施策のところではコミュニティ・スクールについては触れていかなければならないことなので、そちらのほうで位置付けさせていただきまして、計画ということで進めさせていただきたいと思います。</p>
議長（西崎委員長）	<p>そういうことでよろしいですか。具体的には施策のほうで取り上げられるものということです。 ほかによろしいですか。 はい、富田委員。</p>
富田委員	<p>12 ページのところでは、学校給食の充実というところで、「地元農産物を取り入れた」というところが、これは子どもの数が減ったとか云々ではなくて、この件に関しては食材の、地元の農産物を取り入れた食材の割合なので、子どもの人数とか関係ないと思うのですが、やはり 10.1%に下がるというのは農家さんの作り手がいないという何らかの理由があるのですか。</p>
議長（西崎委員長）	<p>この数値の問題ですね。 はい、学務課長。</p>
学務課長	<p>はい。平成 29 年度につきましては目標値で予め定まっている数値でございます。平成 27 年度の 15.9 というのは実績値でございます。既に目標値をこれだけかなり上回っている状況でございます。従いまして、この目標値につきましては、また改めて見直しというような形になろうかと考えています。この 10.1 という数値につきましては、今の現行の計画の中で定めた目標値で、それがここに記載されているものですので、現状として既にそれを上回っておりますので、また今度の新しい計画で検討することになります。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい、狩野委員。</p>
狩野委員	<p>学校給食のことに関してなのですが、13 ページにある今後の課題というところで、個人的な疑問を抱いてしまったのですが、真ん中の部分で「学校給食については、地区ごとに異なっている給食内容の統一や、より効率的な運営が求められています。また、学校給食施設の老朽化対策」と書いてありますけれども、たまたま自分の学校が栗橋にあるものですから、栗橋小学校ですから、今いろいろ問題になっている学校給食、給食センターの問題で、この場で言う予定はなかったのですが、今現在、</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
狩野委員	<p>学校給食は美味しく食べられているのですよ。</p> <p>それで、センター化して効率良くということが書いてあるのですけれど、実際、効率化がうちの学校では悪くなってしまうのではないかというのが正直なところで、これから遠くなるからという意味で。その目指しているものがちょっと違うのではないかなと疑問を感じてしまっていて、この立場だったので言わせてもらっているのですけれども、久喜市自体の方向性が、ちょっとこれだけ広がってしまったので、今日も菖蒲に来るときに8時半頃に学校給食センターのトラックとすれ違って、その時間に運んでいるのかわからないのですが、もう出来上がったものを配達しているのかなと。その時間に出来ていて、子どもたちに美味しさを提供するという方向であるのに関わらず、冷めた給食になってしまうという方向が、どうもこの中に書いてあることと、やっていることとが違うのではないかなと思って疑問に感じてしまっていたので、それでちょっとそういうのは見直しと改善と、この言葉自体が何か合っていないので、そういう改善というのはいけるものなのではないでしょうか。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい、学務課長。</p>
学務課長	<p>おそらくなのですが、配送車をご覧になったのは実は配送車が委託で頼んでいる部分がございますので、庁舎の近くに配送車を停めているところがありますので、そこから学校給食センターに行くのをご覧になったのかなと思います。実際に、調理した給食の配送というのは、その時間では調理自体が出来上がっておりませんので、その時間の配送というのは無いはずでございます。</p> <p>それから、冷めた給食とおっしゃったのですが、確かに自校で調理して出すものについては作ってすぐに出せるという利点がございます。違いと言いますと、給食センターで作って学校まで運ぶという配送があるかないかというような違いが、大きな違いとしては自校式とセンター式でございます。</p> <p>今は、調理して出来たものを入れる食缶が、保温性がかなり進歩しております、大変保温性に優れております、熱々のものは本当に熱々のまま届けられる、冷たいものは食缶の中に保冷剤まで入れられるような構造になっておりますので、非常に温度については保たれたまま運ばれるようになっておりますので、温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たいまま配送できるような仕組みになっております。</p> <p>計画の話に戻りますと、ただ今、学校給食審議会のほうで審議を行っている最中でございますので、審議会の答申を待ってとい</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
議長（西崎委員長）	<p>うような形でございます。</p> <p>はい。学校給食審議会のほうで審議して、方向性としてはこういう方向でということで、よろしいですね。</p> <p>続きまして、13 ページからの基本目標 4「人権を尊重した教育の推進」に関わる内容についてはいかがですか。</p> <p>[特に発言なし]</p>
議長（西崎委員長）	<p>よろしければ、次の基本目標 5「豊かな生き方を築く生涯学習の推進」の内容についてご意見をいただきたいと思います。</p> <p>生涯学習の機会の提供、生涯学習の環境の整備、公民館活動の充実、図書館サービスの充実、市民大学・高齢者大学、放課後子ども教室の推進が、内容として述べられております。</p> <p>内容的には合併後のいろいろな課題を抱えておりますが、いずれにしても久喜の生涯学習というものが、特に他市と変わっているところというか、特徴・特色あるものは市民大学や高齢者大学は特色であろうかなと思います。それから、放課後子ども教室は小学校 23 校すべてに配置されているというようなところ。それから、図書館も 4 つで、大分充実した図書館が整備されており、そういう意味では本に親しむという環境は行われているかなと。また、それぞれの具体的な施策については、この後に出てまいります。</p> <p>内容的にはよろしいでしょうか。</p> <p>はい、狩野委員。</p>
狩野委員	<p>16 ページの生涯学習環境の整備・充実というところなのですが、自分で勉強不足でちょっとわかっていないのですけれども、「いきいき活動センターしずか館を廃止して栗橋公民館に統合する方針を示し、」ということになっていますが、しずか館は全部無くなってしまうということなのですか。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい、中央公民館長。</p>
参事兼中央公民館長	<p>これについては合併時の調整の段階で、栗橋公民館としずか館は統合するという方針で、それに向けて準備をしているところでございます。ただし、しずか館を使っていた方が無くなることによって、活動場所が無くなることのないように、公民館のほうにスムーズに引き受けられるように、今調整を図っているところで、まだいつ統合するということは決まっておりません。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
狩野委員	<p>例えば、そういうことが起こることによって、高齢者の方は移動手段が少ないと思うのですけれど、そういった方たちが今まで近かったものが統一されることによって、逆に不便性が出るということは考えないのですか。</p>
参事兼中央公民館長	<p>それについても調整の段階で話がありましたけれども、実際にしずか館と栗橋公民館は徒歩で300mくらいの距離なのです。ですから、近距離であるということから多少は距離が延びる方もいらっしゃるかもしれませんが、その辺は大丈夫かなと思っております。</p>
狩野委員	<p>私は仕事で結構お年寄りの方と接していることが多いので、300mが大きいと思うのですよ。300m行けばどこへでも行けてしまうと思うのですけれど、300mが大変な方が多いです。特に、栗橋の町の中は高齢者もすごく多くなっていますので、町自体が栗橋の施設は学校が統合されたとか、統合されて良いところと統合されて悪いところもあると思うのですけれど、例えば、施設そのものが今現在あるのにも関わらず、そこを統合してしまって、それが良いとする方向性というのが疑問なところが多くて、先ほど言った、しずか館と公民館というところが現に利用されていて便利であって、例えば何の不都合があるのかわからないですけど、不都合を感じる人というと便利に感じている人があって、何か不都合なことがあったことによって統合されるのかなと考えてしまうのですけれども、良いことを伸ばしていくのが良いのではないかなと思ったのですが。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい、中央公民館長。</p>
参事兼中央公民館長	<p>これにつきましては、両方とも元小学校ですけれども、公民館、しずか館とも耐震基準を満たしておりません。そういうこともあって、合併時に耐震化はかなり経費がかかりますので、機能的にも同じような機能を併せ持っているので1つにしてもう一方を新しくするのか、あるいは耐震改修するのかという方向性が既に出されております。そういった方向で事業を進めていくと。ですから、実際に両方とも生かそうとすれば、耐震化あるいは新しくするというので、かなりの経費がかかりますので、市としては1つにするという方向性で今動いているところでございます。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
狩野委員	<p>ここで議論してしまっただけで申し訳ないのですけれど、例えばそれでいて片方を生かして片方を別なものに使うといったときにも、結局のところ耐震強度の問題は絶対変わらないわけじゃないですか。満たしていないということなので。そのときにはそちらを壊してしまっただけで新しく建て替えるという方向性になってしまうのですか。</p>
参事兼中央公民館長	<p>まだ方針は出ていませんけれども、栗橋公民館のほうを耐震化するか、あるいは耐震化して一部改修するか、あるいは新たに新築するか、そういったことが考えられますが、今のところ、どれにするという決定には至っておりません。</p>
狩野委員	<p>お金で買えないものってたくさんあると思うのですけれど、やはり人間が生活してお金払っているので、お年寄りの300mですけど、お金で買える幸せというののもかなりあると思いますので。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい、教育部長。</p>
教育部長	<p>はい。今ご指摘いただいております、しずか館と栗橋公民館ですが、この経緯には非常に長い議論を重ねておまして、前のこの基本計画まで戻らなければならない状況でございますが、久喜市におきましては合併しまして、非常に施設が多くなっている状況でございます。そういう中で、この全部の施設を見ていきますと、30年、40年経った施設が多くなってきておまして、これらをどのように維持管理していくかという部分がまた大きな問題となっております、それはまた総務部門のほうで公共施設の耐震・長寿命化と申しますか、それらをどのようにして維持していくか、あるいは統廃合もございまして、いろいろな状況に応じて、それぞれの建物をどういうふうに関後管理していくか、それは廃止も含めて、これは止む無しになるのですけれども、今申し上げたような、いろいろな施設を、市内の全部の施設をどのように使っていくか、その総合的な計画の中で、このしずか館についても位置付けられているものでございまして、特にこのここで議論ができるような状況でないということをご理解をいただきたいと思っております。</p>
議長（西崎委員長）	<p>よろしいでしょうか。 つづきまして、基本目標6「歴史・文化の継承と活用」の内容についてはいかがでしょうか。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
議長（西崎委員長）	<p>この内容も合併後、地域ごとの歴史・文化があったのですね。それを上手く久喜市全体でまとめていくというのは大変な仕事なのだけれども、地域の特色ということで、地域の歴史や文化は地域で育ててきたものをどのように継承し、理解し、それに参加して文化を今後の生活に生かしていくかというところは大変苦労しているところですけども、大変充実してきているのではないかなと思います。</p> <p>〔特に発言なし〕</p>
議長（西崎委員長）	<p>なければ次の、基本目標7「生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実」ということで、ご意見ございますか。</p> <p>はい、富田委員。</p>
富田委員	<p>高齢化社会、私も10年後に60歳を超えるのですけれども、健康を維持して、本当に元気で高齢者として生きていきたいなと思う中で、特にまた表になります。21ページの「社会体育施設の利用者数」がかなり増えたということは、おそらく指定管理者制度の導入が1つの成果になるのかなと思います。体育館の中でも英会話教室をやっているなど、かなりいろいろバイタリティあるようなことをされているので、こういったことをもっと指定管理者制度だから、20ページに「導入し、」とありますが、市のバックホーンがあるということを強調されて、久喜市ではやはりこういった取り組みをされているということをもっと広まって知られればいいなと。なかなか広報紙とかを読んでいる方はいらっしゃるなかつたりするので、こういったことをやっているのだ、またこれからの健康維持のために、みんなが健康で生きてお互い助け合えるようにということ踏まえて、本当に数字はすごいと思うのですよね。こういった良いことは強調されたら良いのかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
議長（西崎委員長）	<p>ご意見でよろしいですか。</p>
富田委員	<p>はい。意見でいいです。</p>
議長（西崎委員長）	<p>ほかにごございますか。</p> <p>はい、平澤委員。</p>

## 審議会等会議録

発言者	会議のてん末・概要
平澤委員	<p>どこに入ってくるかわからなかったものですから、質問させていただきたいのは、最初の4の「教育を取り巻く社会の動向」の中で、(3)の「グローバル化とICTの発達・普及」ということがありますが、ICTの発達・普及については、市内の学校でICTを活用した学習活動が充実していると思うのですが、このグローバル化について内容が少し見えてこないのかなと感じております。今度の学習指導要領では、小学校3年生から外国語活動が入ってきたりしますし、国際理解といった面では、学校教育の役割は大きいかなと思いますので、その辺の記述が入っていたら良いのかなと思いました。</p>
議長（西崎委員長）	<p>グローバル化に対応する内容というのは、施策の中には入っていますか。</p> <p>はい、指導課長。</p>
参事兼指導課長	<p>こちらのほうは課題になるのですが、目標3「信頼される学校づくりの推進」の中の、13ページになりますけれども、ICTの活用について当然ソフトとハードの面があるのですが、ハードについてはこちらに入れたのですが、当然ソフトのほうにつきましては10ページの今後の課題のところですが、上の段ですが、「情報化やグローバル化に対応できるよう、ICTの導入による情報教育や外国語教育の改善・充実が必要です。」ということで、当然施策の中でそれぞれ今後入れられていくものとしてご理解いただければと思います。</p>
議長（西崎委員長）	<p>10ページの上の今後の課題のところ、情報化やグローバル化に対応できる教育を行っていくというのが出ておりますので、当然施策の中にもそれに関わることが出てくるということです。</p> <p>よろしいですか。</p>
議長（西崎委員長）	<p>それでは、最後になりますが、基本理念は前回と変わりません。こういう理念で3つの方針を立て、目標を設定したという1つの方向性を示したものであるかと思えます。</p> <p>この内容等についてはよろしいでしょうか。一般的なことで書かれておりますので、具体的なものはこれを具体的なものとして施策のほうに移ってまいりたいと思いますので。</p> <p>よろしければ施策の体系について、こういう取り組みをそれぞれ全部で37項目あります。それぞれに具体的なものが入ってきます。37項目の一覧表になるわけです。ですから、例えば、目標1の施策1「子どもたちの人間形成の基礎づくりの支援」に具</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
議長（西崎委員長）	<p>体的な施策がいくつか入るという形になります。 よろしいでしょうか。</p> <p>なければ時間も大分迫ってまいりました。大変内容が濃い中、短時間で審議を取らせていただいたわけですが、振り返ってもう一回見直しをしていただいて、こんなところが問題になるのではないかということがあれば、次回にお話しただければというふうに考えております。</p> <p>もしなければ、この部分については以上で終わりにしたいと思っております。</p>
議長（西崎委員長）	<p>最後に、その他ということ何かございますか。 それでは、事務局のほうからその他ということをお願いします。</p>
事務局(教育総務課 総務係長)	<p>次回の策定委員会でございますが、第1回のときにスケジュールでお示ししましたとおり、現在のところ3月中ということで、3月の下旬くらいになるのかなということで予定してございます。皆さんお忙しくされていると思いますので、極力日程を早めに調整して早めにご連絡するようにはしたいと思っております。</p> <p>また、内容等につきましては、本日いただきましたご意見を踏まえまして、再度、事務局として内容を精査、確認いたしまして、修正した部分についてのご報告という形になると思っておりますが、改めて総論の部分をお示ししたいと思っております。</p> <p>また、先ほどからお話しさせていただいておりますとおり、第2章の「施策の展開」について、具体的に平成30年度以降の部分について、第3回のときに素案をお示ししましてご審議をいただきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
議長（西崎委員長）	<p>はい。次回の日程等についてはまたご連絡するというので、よろしく願いいたします。</p> <p>なければ以上で本日の会議を終了したいと思います。進行にご協力いただきましてありがとうございました。議長の職を解かせていただきます。</p>
教育副部長兼教育 総務課長	<p>西崎委員長、どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、安田副委員長よりご挨拶をいただければと存じます。よろしく願いいたします。</p>



審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
<p>教育副部長兼教育 総務課長</p>	<p>[安田副委員長 あいさつ]</p> <p>安田副委員長、ありがとうございました。 委員の皆さまにおかれましては、長時間にわたりましてご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。 本日の日程は以上を持ちまして、すべて終了とさせていただきます。 ご協力ありがとうございました。</p>
<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためここに署名する。 平成29年 2月27日</p> <p style="text-align: center;">久喜市教育振興基本計画策定委員会</p> <p style="text-align: right;">委員長 西崎 道喜</p>	